

2017（平成29）年度事業報告

（自・2017年4月1日 ～ 至・2018年3月31日）

2017（平成29）年度は公益財団法人として5年間を経過した。公益事業の充実と財政の安定化を図りつつ社会福祉を担う人びとの資質の向上、啓発、助成・奨学金支給等各事業は順調に展開することができた。

事業を推進するにあたって、以下を課題と踏まえつつ実施した。

- ① 海外研修の方向性
- ② 高齢者と児童・子どもへの対応
- ③ 自然災害による地域対応
- ④ 財務の強化と安定化
- ⑤ ホームページを中心とした情報の発信

などである。

公益事業の概要

「社会福祉の担い手の育成及び福祉活動振興のための支援事業」を目的とし、その成熟をめざし直接、間接的に支援を行ってきた。

福祉に携わる人々の資質の向上のため海外研修、また国内における社会福祉情報提供のための講座、講習、セミナー、施設見学会、手話教室等を開催した。また福祉をテーマとした「エッセイ」の公募等で広く福祉社会への啓発を計ってきた。

また、社会福祉施設は規模を問わず新設されているが、財政規模によっては活動展開が捗りにくい施設も数多くみられ助成の要請は増加しているので資金助成をしてきた。

高度化する福祉社会のリーダーとなるべき人材を育成することは将来を見据えた福祉社会への支援である。そのための具体的な支援としてペイン記念奨学金を給付、開始4年目となった。

（公1） 公益事業

ア. 海外研修事業

海外での社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常業務に生かしていく「人材」となることをテーマとしての研修を実施してきた。

2017年度は、特別養護老人ホームの施設長など管理的立場にある者の経営訴求にこたえ「世界の高齢者のケアを学ぶーアメリカ・ポートランド市における研修」を企画実施した。

ポートランドは高齢者が最後まで自立した生活をするにはどうしたらよいかを考え続け、新しい生活スタイルをつくりだした地であって、その地の州立大学における研修の成果は今後とも生かされ参加者の価値を高めることとなるであろう。

今回は、参加者の枠を16人とし、提供する研修機会を広げることができた。

【研修先】 アメリカ・オレゴン州 ポートランド州立大学及び市内高齢者施設3ヶ所

実施期間 2017年9月24日～9月30日

参加者 公募による 16人 財団委員3人
 海外研修企画委員 遠藤久江、高原敏夫、助川征雄、松井直樹、
 公募期間 2017年7月15日

委員会開催 4/26 (2017年度研修計画) 7/19 (選考委員会16人選考) 8/19 (オリエンテーション)、8/20 (成果と反省、報告書作成の検討) 10/11 研修総括 1/13、2018年度研修 (ポートランド、シンガポール2か所を予定する。) 2018/2/9 スケジュール作成

研修の成果として「アメリカ・ポートランド研修報告書」を200部発行配布した。

イ. 講座講習等開催事業

社会福祉の担い手に、新しい知識、技術等を知らせたい。

特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与、支援するため各種事業を開催した。

2017年度開催事業

	事業名	内 容	公募期間	実施日	場 所	参加人数
1	音訳講座 (基礎編②)	読むことが不自由な方々のために、文字などを音声化する音訳、そのルールの基礎を深める講座。	～4/21	4/25 5/16 5/30 全3回	愛恵ビル	30人
2	音声デイジー 製作講習 (基礎編)	音声に加えて目次・見出しの情報を記録した「音声デイジー」について学び、パソコンによる録音と編集方法を学ぶ。	～6/14	6/21 6/22 6/23 全3回	愛恵ビル	13人
3	マルチメディアデイジー 製作講習	発達障がいや知的障がいのある方、文字が見えにくい方々に対する読書支援。音声と文字、画像を同時に再生できるデジタル録音図書の製作方法を学ぶ。	～10/12	10/19 10/20 10/21 全3回	愛恵ビル	10人
4	施設見学会 (第1回)	キリスト教の理念を基に高齢者は「人生の完成期」、「老いから看取りまで」をその人らしく「大切にされている」と感じられるよう寄り添う、地域に根付いた歴史ある施設の福祉サービスを学ぶ。	～5/19	6/8	社会福祉法人 聖ヨハネ会 「桜町聖ヨハネホーム」	20人

5	施設見学会 (第2回)	様々なアイデアを駆使して、利用者の誰もが働きやすいよう支援し、地域で充実した暮らしができることを目指し、働くことを通じて「自分らしく人に役立つ」ことで人生に誇りが持てるよう支援する「ウィズユー」の実践を学ぶ。	～9/28	10/13	社会福祉法人 トポスの会 就労支援施設 「ウィズユー」	15人
6	セミナー (講演会)	川越厚氏 「穏やかな死を迎えるために」		6/1 11/14 全2回	北とぴあ	90人 90人
7	手話教室	入門、初級、中級、上級 全8クラス 手話通訳士へのステップアップ講習会		4～3月 20回	愛恵ビル	65人

講座講習企画委員 田中弘、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 4/25、5/16、5/30、6/6、6/8、6/21、6/22、6/23、10/13、10/19、10/21、
2/15,

川越厚氏講演会 DVD制作

ウ. 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

豊かな福祉社会を創るため、国民各層から助け合い、支え合う体験、経験のエッセイを公募、福祉意識の涵養のため公募した。

公募期間 2017年9月15日～11月13日

応募数 学生 111、専門職10、一般12 計133

選考委員会 2018年1月23日

選考委員 八尾 勝、今野義美、河合裕志、坂上三男

表彰式 2018年3月3日 於・銀座教会東京福音センター

福祉講演会 「こころ 燃やされる」 小倉義明（アジアキリスト教教育基金理事長）

受賞者

区分	最優秀	優秀	佳作	奨励
学生	1人	4人	4人	1人
専門職	1人	1人	2人	—
一般	1人	2人	3人	—

受賞作品集を600部 制作 配布

エ. 社会福祉育成活動推進事業

① 助成金給付

社会福祉法人及び特定非営利法人等が実施している事業のうち比較的小規模、貧困救済、子供に係る事業、先駆的事業の挑戦者、緊急性のあると判断されるものに助成をした。

公募期間 2017年7月15日～9月20日

選考委員会 2017年10月19日

助成件数 応募 99件 給付 77件

選考委員 小島敏則(東京都社会福祉協議会)、高原敏夫(社会福祉法人マザアス理事長)
関道子(多摩同胞会)

公募期間を7月～9月において 周知期間は例年と同じく行った。

② ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対 象 指定16大学 福祉系大学院生

公募期間 2017年4月15日～5月15日

応募者数 6人

必要書類 申請書、成績証明書、指導教員推薦書、本人レポート(自筆のもの)

選考基準 1次 学業成績、指導者推薦書内容、本人レポートによる順位付け
2次 面接勉学の意欲、研究分野及びテーマの口述、自己表現力

選考委員会 1次 2017年6月3日

2次 2017年6月14日(6人の面接)

決 定 3人

選考委員 遠藤久江、河合裕志、李 善恵(関西学院大学)、都築光一(東北福祉大学)
柴田謙治(金城大学、10月より)

委員会開催 5/26(選考)、6/3(面接) 1/25(次年度公募要領、推薦大学の見直し)
2018 1/19、/3/24、3/27(受給者報告会)、

受給者報告会 出席者 修了者3人、他2人

収益事業

(収1) 施設貸与事業

「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを一般に貸与している。

2017年度の 事業収入は 合計 7,212,273円

テナント

株式会社 ESS 3室 社団法人 日本エアマンシップ・操縦士養成機構 1室

良公監査法人 1室

収益の50%を公益事業に振り替えた、

法人運営に関する事項

1. 総務事項

財団設立年月日 1998年10月1日

基本財産 (2018年3月31日現在)

投資有価証券 2,681,456,760円(時価)

土地 100,000,000円

建物他 44,355,726円

2. 役員 2018年3月31日現在の役員 理事7人 監事2人

代表理事 理事長 高原 敏夫(非常勤) 業務執行理事(常務理事・常勤) 杉浦孝夫

理事(非常勤) 遠藤久江、河合裕志、昆百合子、田中弘 高原敏夫、西崎攻司

監事(非常勤) 新庄正 廣田伊志子

評議員 2018年3月31日現在の評議員(非常勤) 7人

上田 健、岸川洋治、坂上三男、坂本正路、塚越敏夫、新田和子、野原健治、

3. 事務局

常務理事(事務局長) 1人 職員 2人 久保悦子、園田久遠(4/1採用)

4. 届出、変更、登記 6月28日 評議員就任、7月3日理事退任、10月12日評議員退任 1月26日 理事長退就任変更 3月10日 評議員辞任

5. 会議開催状況

評議員会	2017年6月28日 2018年3月27日	2017年度 定時評議員会 2016年度 事業報告・収支決算承認 役員報酬規程変更 評議員1人選出 2017年度 臨時評議員会 2018年度 事業計画案 承認 収支予算案 承認
理事会	2017年5月23日 9月21日 11月28日	2017年度 第1回定時理事会 2016年度 事業報告(案)承認 決算報告(案)承認 監査報告の件 2017年度 第1回臨時理事会 業務報告、財産運用(定期預金償還と再投資ヒアリング)、奨学金、海外研修決定報告 非常勤役員報酬限度額の規定の件 第2回臨時理事会

		濱野理事長死去に伴う高原理事長選定 日本地域福祉施設協議会協賛の件
	2018年1月18日	第3回臨時理事会 2018年度事業計画検討 同 収支予算計画検討 臨時評議員会開催日の決定
	2018年3月9日	2017年度第2回定時理事会 2018年度事業計画（案）承認 2018年度収支予算（案）承認 2018年度資金、運用計画の承認

財産運用

財団の運営はすべて基本財産運用益によっている。

2017年度の運用益は予算52,500千円を計上したが、実績は62,000千円となった。
約10,000千円の増額は為替変動により予算金利を上回り増額されたものである。

業務改善

ホームページの刷新、財団案内パンフレット更新、「愛恵だより」発行により情報伝達の機能の向上を目指し、事業の内容、実行について公開してきた。

事業報告の付属明細

2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以上